

「学び」のふりかえり 単元末評価問題の活用について

P

授業の計画

授業のポイントを
確認する

該当単元の学習に入る前に、解説資料を読み授業のポイントを確認する

該当単元の学習に入る前に解説資料を読んで授業のポイントを
確認し、授業の計画を立ててください。解説資料には、単元の学
習の中で大切にしたい見方・考え方や授業に取り入れたい活動等の
具体が示されています。本問題に対して児童がどのように記述す
るかを予想することが、授業を構想する手立てになります。

クラスの児童
は、この問題に
どのように答え
るだろう？



D

授業の実施

考える力、記述の力を
高める工夫を取り入れる

授業のポイントを取り入れて授業を実施する

解説資料を読んで確認した児童から引き出したい言
葉や考えが表れるような工夫を授業に取り入れてくださ
い。大切にしたい見方・考え方が表れた授業づくりが
期待できます。

教科書のこの教材
を扱う時には、児童
にじっくり考えさせ
たり、考えを書かせた
りする活動に特に力
を入れよう！



C

単元末評価 問題の実施

採点后、
Web システムに
結果を入力

児童の解答状況から
授業改善の
視点を
確認する

該当単元の最後に、単元末評価問題を実施する

該当単元の学習が全て終わったところで、実施してください。各問題は、10分間の
解答時間を想定して作成してあります。学級の実態によっては、多少の前後は構い
ません。通常使用している市販のテストの時間に組み入れたり、朝の学習の時間を利用
したりするなどの取組方法が考えられます。

児童の考えを読み取りながら、採点基準に照らして採点する

解説資料には、正答例と採点基準、採点の具体例を示してありますが、正答例以外
にも正答となる解答があります。記述での解答の場合、多様な児童の表現が予想され
ます。採点の際には、採点基準に照らして児童の記述の内容を解釈し、正答と認められ
る場合には加点してください。周りの教師と相談して判断することも考えられます。

集計結果を Web システムに入力する

集計については、正答の人数の合計を出してください。集計ソフト (Excel)
を配付しますので、活用してください。

※集計ソフトによる個人の集計結果を観点別評価に活用することも考えられます。



A

授業改善の視点を 授業に反映

児童のもつ課題を
意識する

児童の解答状況から、授業改善の視点を見いだす

Web システムにより、県平均との結果の比較等を行っ
てください。授業の成果として表れている内容、不足し
ている内容を客観的に見て、授業改善の視点を見いだし
てください。

根拠を示して説明する
ことが難しいようだ。
次の単元では、考えの
根拠を問うことを意識
して授業をしていこう。



次の単元の学習に入る前に、授業改善の視点を授業に反映させる

次の単元や関連する他の単元において授業を構成する際に、本問題で見いだした授業
改善の視点をどのように生かすかを考え、授業改善のサイクルを作ります。